opusdei.org

神様はどの言語でも お話しになる

日本で生まれたが、メキシコで暮らしていたケイさんは、 聖ホセマリア・エスクリバー の書物を読んだことで信仰に 出会いました。

2009/09/08

祖母ケイは(1907-1998)、日本で生まれ育ちましたが、日本大使館勤務の夫・サシダ・ヘイリクの転勤に伴いメキシコに渡航しました。男5人、女6人の子供に恵まれ、メキシ

コ勤務終了後も家族はそのままメキ シコに留まりました。

フリアさんは信仰に熱心な人で、仕事の許す限り、平日にもごミサに与るために教会に行っていました。その信心を子ども達に伝えました。時が経つにつれて、子供たちはそれぞれカトリック信仰を求め、長女のグロリアちゃんが12歳の時、涙をなが

しながら親から許可をもらい、洗 礼、初聖体と堅信を受けました。

そのグロリが私の母親です。父・トマスと結婚し、クリアカン市に住みました。学校の長い休みや赤ちゃんが生まれる時にはケイおばあまてくれていまでに来てくれていまではかまでに来て明間は1カ月ぐらいまででした。滞在の当時、母はすでになずり、日本という東洋宗教を信し、母はしたが、母は同じ神様をしていました。

私がオプス・デイに加入を求めた 1976年頃から、聖ホセマリアの書物 の日本語訳が出版し始められたの で、祖母に送りました:道、十字架 の道行、知識の香、いくつかのお説 教集・・・

祖母からのお礼状には、とても喜ん でいること、また、読むだけでなく 黙想もしていることが書かれていました。しばらく経ってから、マリア様への信心について書いてくれたこともあります。数年後、祖母は子供や孫たちと同じカトリックの洗礼を受けました。

母と私が聖ホセマリアに取次を頼み 続けていましたので、祖母は聖ホセ マリアの書物のお陰で改心をしたも のと確信しています。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/shen-yang-hadonoyan-yu-demoohua-shininaru/ (2025/10/29)